



吹雪の中行われた新校舎移転開校セレモニー



大きな体育館で授業式

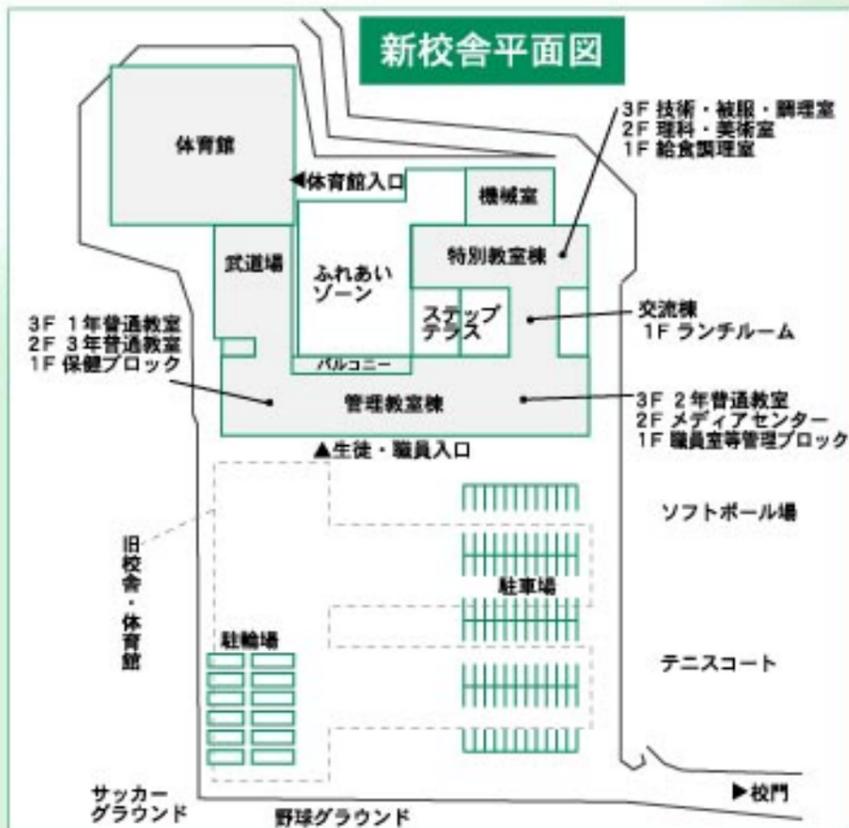
体育館アリーナは、旧体育館と比べ約2倍の面積で天井高は約10m、バレーボールのコートが2面とれる広さ。2階のトレイニングスペースは、クッション性に優れたラバー製の床面です。体育館・武道場ともに遠赤外線放射式の暖房機が設置されています。

新しい教室での休み明けテスト



1階、中央階段ホール脇にはランチルームがあります。調理室に隣接し、温かい給食を全校で仲良く一緒に食べることが出来ます。1日に1度、全校が集まることとなります。同ホールは2階まで吹き抜けの小ホールで、大型スクリーンや映写・音響装置を備え、視聴覚室と一体的に使用することもできます。新校舎は、全体に大きく広い造りで、1階ふれあいゾーンや2・3階のステップテラスなどは、ウッドデッキの明るいキッチンバス風。新しい現代的な校舎で、仁賀保中学校の新たな歴史がつけられていきます。

大人数の給食タイム「おいしい！」



◆問合せ  
教育委員会総務課  
38・2259

今後、3月までに旧校舎の解体を終え、4月からは正面の駐車・駐輪スペースなど、外構全般の整備を行う計画です。工事車両の通行など、いままじばらく、ご理解とご協力をお願いします。

建設中だった仁賀保中学校（須藤完校長・生徒数369名）の新校舎が完成し、冬休み明けの1月14日（木）、新校舎移転開校セレモニーが行われました。生徒・関係者によるテープカットで新校舎完成を祝いました。セレモニーに続き生徒たちは、3学期始業式や休み明けテスト、全学年で一緒の給食、と明るく開放感のある新校舎で新学期をスタートしました。



完成した新校舎

大きい！明るい！開放感！

仁賀保中学校新校舎完成

【新校舎の広さ】

- ▼校舎面積：旧校舎と比較し約1.3倍の広さ 8,360㎡
- ▼体育館：アリーナ部で約2倍全体で約2.5倍の広さ 2,139㎡
- ▼武道場：剣道・柔道が同時にできる武道場を新設 450㎡
- ▼ランチルーム：400人が一緒に給食を食べることができ吹き抜けの小ホール。スクリーンや音響装置を備え、隣接する視聴覚室と一体的に使用できる 420㎡



ウッドデッキのふれあいゾーン

中央階段を上ると、2階にはメディアセンターがあります。図書室とコンピュータ室からなる同センターでは、図書や辞書、インターネットによる購入しています。



中央階段と壁画「希望の花」

仁賀保中学校旧校舎は昭和37年完成の鉄筋コンクリート3階建てで、築47年を経過し耐震補強を必要としていました。また、設備も老朽化し、不便さが目立つ校舎でした。新校舎も同じく鉄筋コンクリート3階建て、現代的で頑丈な造りになっています。昇降口を入り、2・3階へ上る中央階段は幅が広く、壁面には長大な壁画が設置されています。平沢財産区から1,300万円の寄贈を受け設置されたもので、にかほ市内に自生する植物の化石レリーフで「希望の花」と名付けられています。同財産区からは、ほかに図書代金として500万円の寄贈を受け、図書・辞書類、DVDなどを新たに購入しています。

情報収集が可能で、総合的な学習を行うことができます。2・3階の普通教室前は、幅6mと広く、多目的なワークスペースとして、学年単位での活動などに利用されます。



教室前の広いワークスペース